

経済産業省におけるがん対策関連予算について

()内は平成18年度予算額

がん対策関連予算平成19年度要求総額： 132.0億円 (98.4 億円)

1. 医療機器関連 32.9億円 (21.5 億円)

○インテリジェント手術機器研究開発プロジェクト

8.0億円(新規)

手術中にがん細胞の位置や形状を正確に把握し最小限の切除で、
がんを完全摘出する手術システム
(経済成長戦略大綱関連予算)

○分子イメージング機器研究開発プロジェクト

13.2億円(10.3億円)

がん細胞の特徴を捉え、がんを超早期に発見する診断機器

○次世代DDS型悪性腫瘍治療システム

11.7億円(10.1億円)

がん細胞に抗ガン剤を集積させ、活性化し、がん細胞のみを選択的に
消滅させるシステム

○ナノ医療デバイス開発プロジェクト 終了(1.1億円)

消化器・気管支等にできる上皮がんを早期に発見するための高感度
内視鏡システム

2. イノベーションの創出・加速 20.0億円 (新規)

○基礎研究から臨床研究への橋渡し促進技術開発

20.0億(新規)

がん対策等の国民医療の高度化を目指し、急速に発展している多様
なバイオ技術の融合と医療現場への円滑な橋渡しによるイノベーション
の創出・加速(イノベーションスーパーハイウェイ)のため、臨床・橋渡し
研究とイノベーションの阻害要因の解消に向けた環境整備を関係省庁
と連携し推進。

(経済成長戦略大綱関連予算)

3. 創薬に向けた支援技術 79.1億円 (76.9 億円)

○ゲノム創薬加速化支援バイオ基盤技術開発

48.4億円(46.5億円)

がん等の病気の仕組みを詳細に解析する基盤技術を開発し、疾患
の仕組みの解明や治療薬の開発に貢献

○糖鎖機能活用技術開発 13.1億円(11.9億円)

がん等の疾患の目印となる糖鎖の機能を解明し、疾患の仕組みの
解明や早期診断に貢献

○新機能抗体創製技術開発 13.2億円(12.0億円)

がん等の疾患に対する治療薬や診断薬等に应用できる、標的タンパ
ク質に特異性の高い抗体を効率的に作成する技術を開発

○個別化医療の実現のための技術融合バイオ診断技術開発

4.4億円(6.5億円)

個人の遺伝的特性に基づく、がんの早期診断等の画期的な診断の
基盤技術を開発